

オウトウのわい性台木の選抜

松田 省吾・佐竹 正行*・西村 幸一**・高瀬 紘一***

(山形県立園芸試験場・*山形県庁・**村山農業改良普及所・***山形農業改良普及所)

Selection of Dwarfing Rootstock on Sweet Cherry

Syogo MATUDA, Masayuki SATAKE*, Kouichi NISIMURA** and Kouichi TAKASE***

(Yamagata Horticultural Experiment Station・*Yamagata Prefectural Government Office・
** Murayama Agricultural Extension Service Station・
*** Yamagata Agricultural Extension Service Station)

1 はじめに

現在オウトウの台木として使用されているものは、アオバザクラ、マザートなどで、いずれの台木を使用したものでも樹が大きくなる。現在の労力事情からも樹を小型化して、省力をはかる必要がある。降雨による裂果を防ぐため施設化を進めているが、この点からも樹を小型化する必要がある。

本試験では、サクラ類及びオウトウの実生などを台木に供試し、樹体に及ぼす影響を検討したので報告する。

本研究の実施に当たり、材料の提供並びに御助言、御指導をいただいた農林水産省果樹試験場栽培研究室長、山崎利彦氏、教務指導官（前栽培第二研究室）、鈴木勝征氏に対し、深甚なる謝意を表するものである。

2 試験方法

(1) 昭和52年定植のもの

1) 供試品種： ナポレオン、佐藤錦

2) 供試台木： フジザクラ(イ), フジザクラ(ロ), フジザクラ(ハ), フジザクラ(ニ), シナミザクラ/アオバザクラ。

フジザクラ(イ), (ロ), (ハ), (ニ), は農林水産省果樹試験場で採取し、選抜、分類したものである。

3) 供試は場と栽植方法

昭和51年に果樹試で接木したものを、52年春に、場内ほ場に 4.5 m × 3.0 m の栽植距離で定植。

(2) 昭和53年定植のもの

1) 供試品種： 佐藤錦

2) 供試台木： タイザンフクン, チシマ7, チシマ36, フジカスミ, ミドリザクラ, カラミザクラ, マメザクラ, ナポレオン実生 (九戸), 中国オウトウ (興津1号), 山大No.1, アーリーリッチモンド実生, イングリッシュモレロ実生, チョウジザクラ, アオバザクラ (対照)。

3) 供試は場と栽植方法： 昭和52年定植と同じ。

3 試験結果

(1) 昭和52年定植のもの (表1)

表1 樹の生育、花芽の着生及び収量

種品種	台木	供試本数	幹周 (cm)	新しょう長 (cm)	樹高 (m)	樹幅 (m)	樹の大きさ (m ²)	一花枝樹束状短果枝あたり果数 (コ)	生存花芽率 (%)	一果平均重 (g)	一樹当たり収獲果数 (コ)
ナポレオン	フジザクラ(イ)	4	c 44.3	11.0	d 4.76	3.46	c 4.11	409.0	96.5	6.4	2,351.8
	" (ロ)	3	bc 49.4	11.6	a 5.66	4.12	a 4.89	23.3	-	7.7	170.7
	" (ハ)	6	c 43.0	10.6	a 4.84	3.60	c 4.23	574.0	92.8	6.8	1,916.0
	" (ニ)	6	c 44.8	12.6	cd 4.97	3.57	c 4.27	762.3	82.2	6.3	2,915.8
佐藤錦	" (イ)	3	a 60.3	11.3	abc 5.35	4.05	ab 4.70	400.7	98.1	6.9	1,489.7
	" (ニ)	4	ab 53.2	23.9	ab 5.41	4.13	ab 4.77	641.0	87.7	6.5	1,082.0
ナポレオン	シナミザクラ アオバザクラ	5	b 52.0	16.7	bcd 5.10	3.80	4.46	52.6	-	8.5	217.2
F 検定			***	NS	**	×	**	*	NS	*	*

注. 1): 幹周: 接木部より20cm上部を測定
2): 樹幅: 東西, 南北を測定した平均
3): 樹の大きさ: (樹高+樹幅) ÷ 2

4): 生存花芽率: $\frac{\text{花束状短果枝あたり生存花芽数}}{\text{花束状短果枝あたり花芽数}} \times 100$

樹高、樹幅から樹の大きさをみると、ナポレオンを接いだフジザクラ(ロ)で大きく、前年と同じ傾向を示した。

前年、中間的な生育を示した(イ)は、(イ)、(ロ)と同程度の大きさであった。

佐藤錦を接いだフジザクラ(イ)、(ニ)は、同程度の大きさで、ナポレオンを接いだものに比べて、樹は大きく、前年とはほぼ同じ傾向を示した。

花束状短果枝の着生は、樹勢の強いナポレオン/フジザクラ(ロ)で少なく、樹勢の落着いた、(ニ)で多く、(イ)、(イ)はそ

の中間であった。

この傾向は、佐藤錦/フジザクラ(イ)、(ニ)の間でも同じ傾向を示した。前年から着生量の少なかったシナミザクラを中間台としたナポレオンでは、枝枯れ症のため極端に少なかった。

収穫果数は、樹の大きさが小さいもので多く、樹の大きいもので少ない傾向であり、これは、ナポレオン、佐藤錦ともに同じであった。

表2 樹の生育、花芽の着生及び収量

台 木 名	供試本数	幹周 (cm)	新しょう長 (cm)	樹高 (m)	樹幅 (m)	樹の大きさ	一花枝樹束状短果数 (コ)	一花束状短果枝当たり			一果平均重 (g)	一収獲果数 (コ)
								花芽数 (コ)	生花芽数 (コ)	生花芽率 (%)		
タイザンフクン	5	34.4	19.2	4.26	2.79	3.53	530.2	4.7	2.6	57.1	5.2	184.4
チシマ7	5	45.3	19.1	5.64	3.81	4.73	266.8	—	—	—	6.3	187.6
チシマ36	3	50.0	20.7	5.41	4.19	4.80	355.7	—	—	—	6.5	471.7
フジカスミ	5	43.7	15.4	4.64	3.29	3.97	485.8	4.3	2.8	68.0	5.9	264.8
ミドリザクラ	5	47.0	15.7	4.69	3.56	4.13	623.3	4.3	3.3	80.6	6.5	907.8
カラミザクラ	5	53.8	17.7	5.15	3.72	4.19	413.6	5.1	3.2	66.5	6.9	248.4
マメザクラ	2	38.7	16.2	4.03	2.99	3.51	1,100.5	5.3	3.4	62.9	5.5	489.5
ナポレオン実生 (九戸)	5	46.9	22.2	5.20	3.67	4.44	542.2	4.1	3.7	89.5	6.5	297.6
中国オウトウ (興津1号)	5	51.5	19.1	4.97	3.63	4.30	618.8	4.8	3.1	65.7	6.1	156.6
山 大 Na 1	5	30.8	23.9	3.68	2.58	3.13	150.2	6.2	1.3	22.7	5.6	33.8
アーリーリッチモンド実生	5	40.0	17.7	4.67	3.21	3.94	634.4	4.7	3.8	82.4	6.2	579.4
イングリッシュモレロ実生	3	43.9	23.5	4.61	3.53	4.07	415.7	4.7	4.1	86.2	6.5	612.0
チョウジザクラ	2	29.2	15.8	3.46	2.41	2.94	412.5	5.9	4.3	72.5	5.5	122.5
アオバザクラ (対照)	4	36.4	17.8	3.96	2.91	3.43	521.0	4.9	3.9	81.6	6.6	480.8
F 検 定	—	***	NS	***	***	***	***	NS	***	***	**	***

(2) 昭和53年定植のもの (表2)

樹の大きさで、対照のアオバザクラより小さいのは、チョウジザクラ、山大Na1でミドリザクラ、アーリーリッチモンド実生、中国オウトウ (興津1号)、などがあり、なかでもマメザクラ、ミドリザクラがとくに多かった。

その他は、いずれも対象区よりも少なかった。枯死花芽率は、樹の小さいものが高い傾向にあり、山大Na1では極端に高かった。

収穫果数も樹によるふれはあるが、対照のアオバザクラに比べて少ないものは、タイザンフクン、チシマ7、フジカスミ、カラミザクラ、中国オウトウ (興津1号)、山大Na1、チョウジザクラなどであり、これらの品種を台木としたものは、いずれも樹が小さく、花束状短果枝の着生量の少ないものと一致し、山大Na1では極端に少なかった。

ミドリザクラ、イングリッシュモレロ実生で多かった。

しかし、樹が大きくなるものでも、ナポレオン実生 (九戸) では収穫果数が少なかった。これは、樹勢が旺盛なために、花芽形成が劣ったためと考えられる。

4 ま と め

結果期初期までに、フジザクラ(イ)、(ロ)、(イ)、(ニ) を供試した台木のナポレオン、佐藤錦では、わい化効果の期待できるものはなかった。

また、各種サクラ類を台木に供試した佐藤錦で、生育量が小さくなるものとしては、タイザンフクン、マメザクラ、山大Na1、チョウジザクラなどがある。

しかし、花束状短果枝の着生が悪いことや、生存花芽率が低いなどの問題もあるので、今後、適正な栽培管理による生産力の検定が必要である。